

1 中央環状新宿線（④新宿線～⑤池袋線間）の概要

中央環状新宿線の開通は渋滞解消のはじめの一步

中央環状線は、外かん・圏央道とともに首都圏3環状道路を形成し、都心から半径約8kmの最も内側に位置する環状道路です。**中央環状新宿線（④新宿線～⑤池袋線間）の6.7kmは12月に開通させ、この開通により中央環状線4.7kmの7割が完成します。**

弊社は、2006年7月に「渋滞対策アクションプログラム」を発表し、中央環状線の完成などにより、概ね**10年以内で首都高の渋滞をほぼ解消**することを宣言しました。今回の開通は、首都高の渋滞解消のはじめの一步であり、首都高全体の**渋滞を2割減少**させます。残りの③渋谷線までの区間4.3kmは2009年度中に完成させ、首都高全体の**渋滞半減**を目指します。さらに、中央環状線の最終区間である中央環状品川線9.4kmは2006年度に着手し、2013年度の完成を目指して工事を進めています。

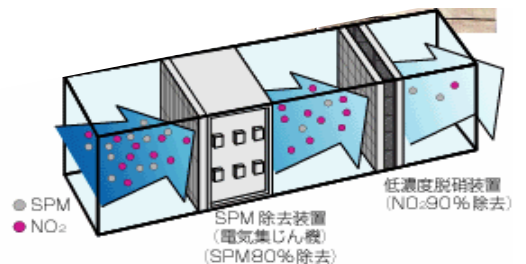
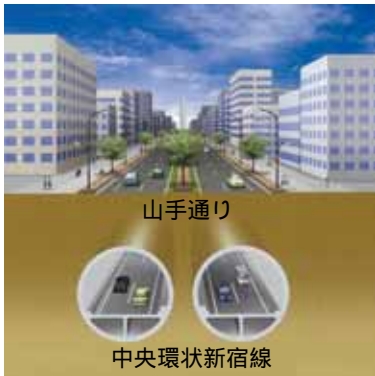


着々と進む照明・換気設備などトンネル内装工事
(西武池袋線椎名町駅付近)

出入口名称は、中央環状新宿線が皆様により親しまれ、より多くの方にご利用いただける道路となるよう、アンケートを参考に検討されました。出入口名称について、みなさまからのご意見をいただいたのは初めての試みです。

環境に優しい道路

- ほぼ全線にわたってトンネル構造を採用し、大気・騒音・振動や日照・景観への影響を最小限に抑えました。
- 山手通りは、中央環状新宿線と一体的に整備します。幅が広くゆとりのある歩道、電線類の地中化、緑豊かな植樹帯の設置により、山手通りは快適でやさしい道路になります。
- トンネル内を通行するお客様が、安全・快適に運転できる環境を保つため、換気所を設置してトンネル内の空気を入れ替えています。
- 自動車からの排出ガスは換気所から取り込まれた空気によって薄められ、換気塔から上空に吹き上げて拡散させるため、排出ガスが周辺環境に与える影響を極めて小さく抑えています。
- さらに、低濃度脱硝設備を設置し、NO₂を90%以上、SPMを80%以上除去し、環境負荷を低減します。



山手通りの地下に位置する中央環状新宿線

中落合換気所(新宿区中落合二丁目付近)

低濃度脱硝設備のしくみ

安全・安心の道路

トンネル内での事故・火災発生など万一の場合に備えて、国内最高のAA等級の防災設備に加え、首都高独自の追加防災設備も設置しています。トンネル火災発生時にも、お客様の安全確保を第一に考えた運用を行います。

【首都高独自の追加防災設備】

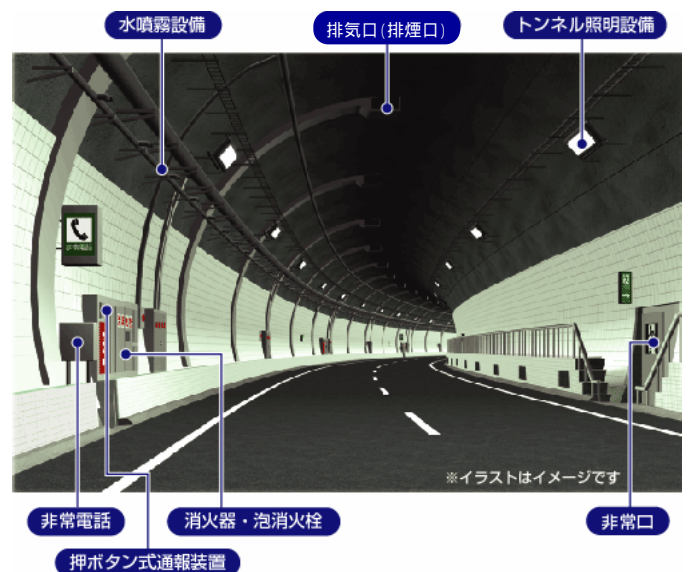
早期に事故等の交通異常事象を画像処理により検出するシステムの導入。

迅速な情報提供のため、情報板に直接行動を示すメッセージを表示。

トンネル内の発災地点への進入を確実に防ぐため、遮断機を設置。

パトロール隊の強化のために、日本初のバイク隊を導入予定。渋滞中の迅速な現場到着や遮断機による早期の通行止め制御を実施。

迅速・確実な避難誘導のために、非常口強調灯やトンネル内でも明瞭に聞こえる拡声放送（時間遅延技術を適用）を導入。



AA等級のトンネル防災設備



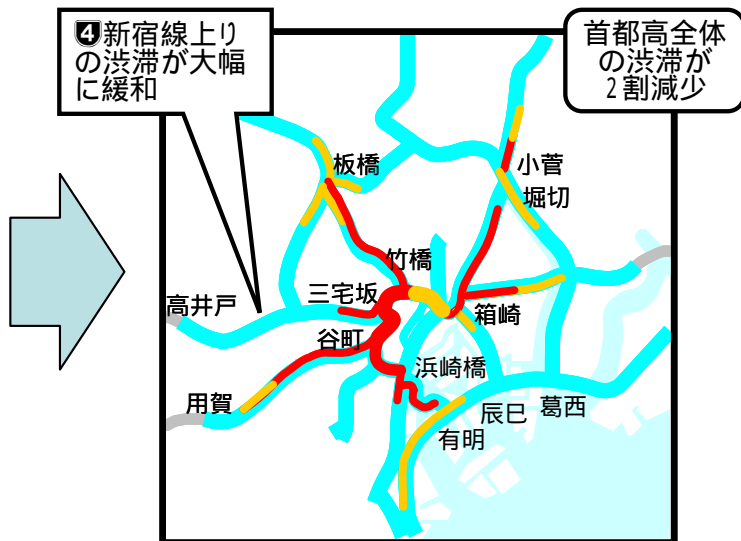
渋滞解消のはじめの一步

～ 首都高の渋滞が2割減少～

開通により、環状道路の機能が發揮され、都心環状線に集中する交通が迂回・分散されることにより、首都高全体の渋滞は2割減少します。特に、④新宿線上りの渋滞が大幅に緩和されます。



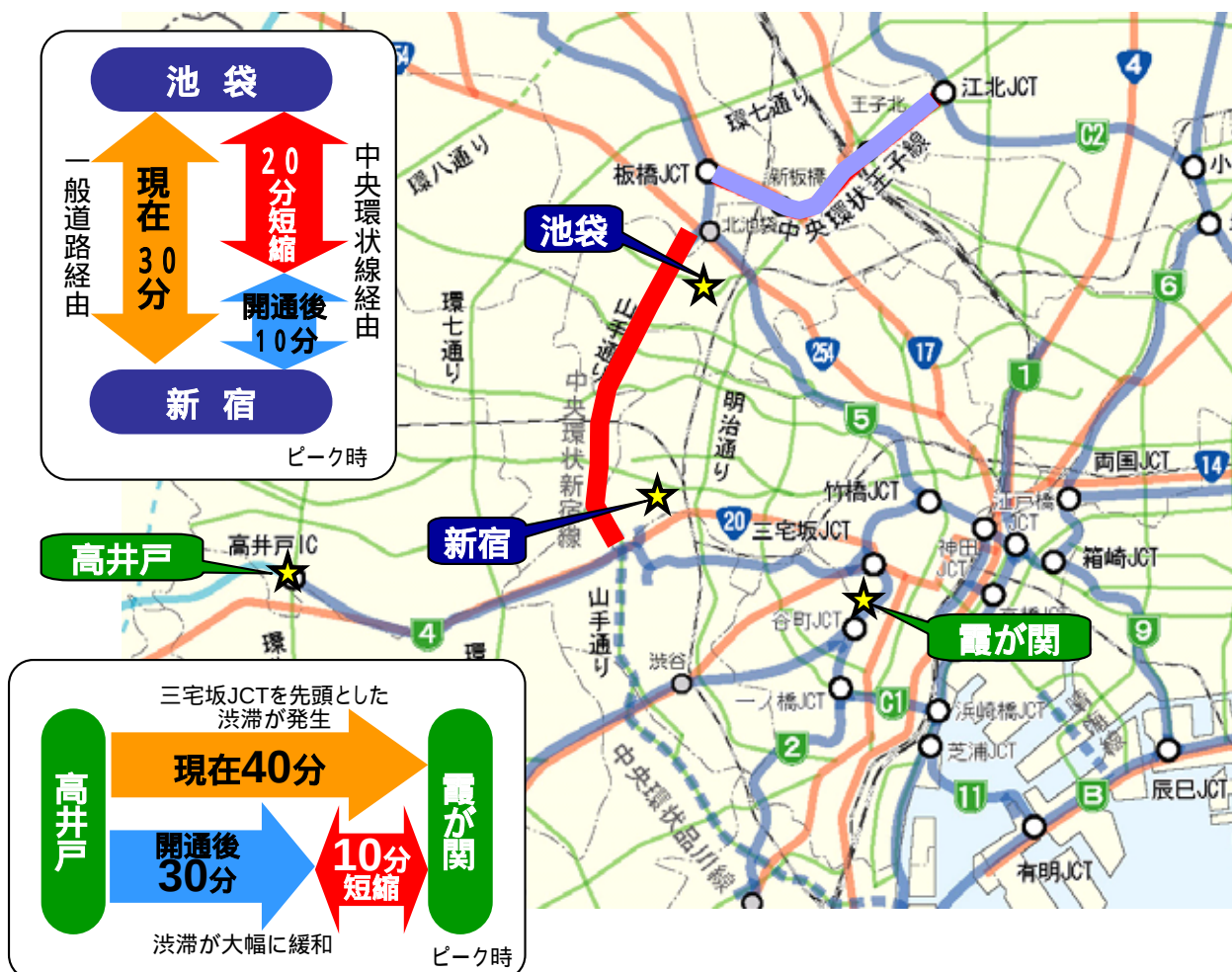
現在



④新宿線～⑤池袋線間 開通後

有明辰巳ジャンクション間改良の効果を含む

- ・新宿と池袋の相互間の所要時間が30分から10分へと20分短縮します。
- ・中央環状新宿線の開通により、④新宿線の三宅坂JCTを先頭とした渋滞が緩和され、ピーク時間帯の高井戸から霞が関に向かう所要時間は、40分から30分へと10分短縮されます。

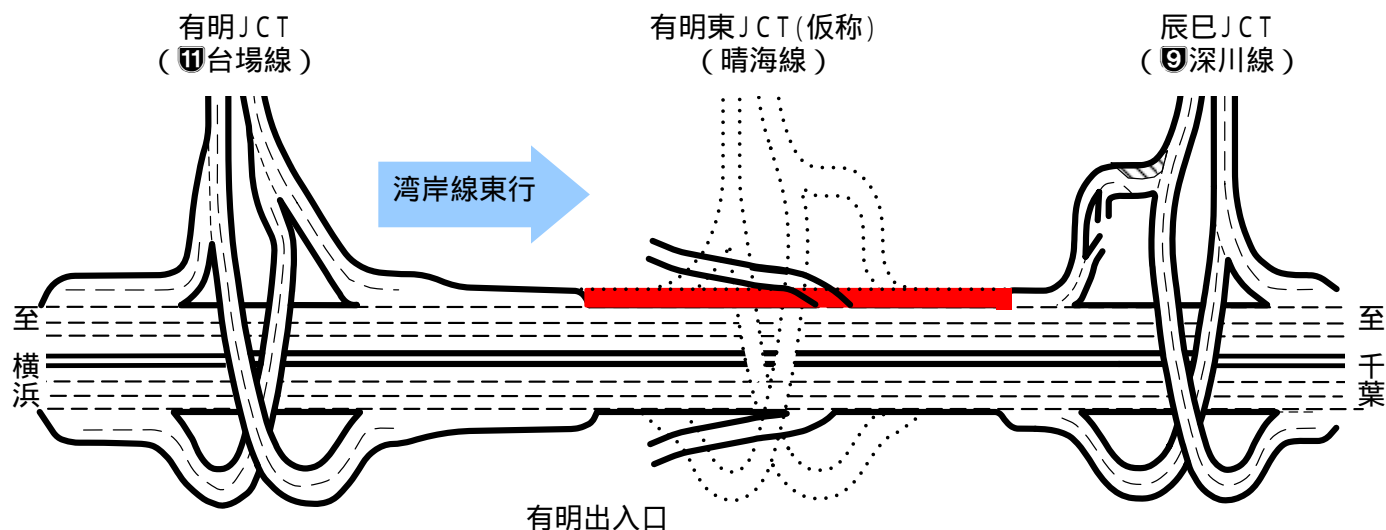


2 有明辰巳ジャンクション間改良の概要

～ 湾岸線東行の渋滞を解消～

湾岸線東行き有明付近は、**⑪**台場線からの合流及び上り勾配等によって交通容量が不足し慢性的な渋滞が発生しています。湾岸線東行きの**⑪**台場線が合流する有明ジャンクション合流部から**⑨**深川線に分岐する辰巳ジャンクション分流部まで約900mにわたって片側4車線化。2008年3月までに開通させる予定です。

この改良により、湾岸線東行き有明付近を先頭とした渋滞はほぼ解消し、所要時間は約8分短縮されます。



3 石川町出口（仮称）の概要

～ 湾岸線方面から横浜都心部へ直接アクセス～

⑪横羽線の石川町ジャンクション付近において、湾岸線方面から横浜都心部に直接アクセスする出口です。12月までの開通を目指し、横浜市の街路事業と連携して整備を推進します。この出口の開通により、横浜中華街や横浜スタジアム・横浜市役所等が集中する横浜都心部へ直接アクセスできるようになり、2004年12月に完成した本牧ジャンクション改良と合わせ、湾岸線方面と横浜都心部とのアクセスが格段に向上します。横浜市役所周辺への所要時間は、湾岸線東京方面からは約6分、湾岸線磯子方面からは13分短縮されるほか、周辺の一般道路の渋滞緩和にも貢献します。

